

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

| 交付対象事業の名称           |
|---------------------|
| 外国人技能実習生等受入企業緊急支援事業 |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | 労働政策課        |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2366 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別） | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|----------------|--------------|
| 13     | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ③-1-4、事業者への支援  | 4,580千円      |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | <b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b> |
|--|-----------------------------|

|   |          |
|---|----------|
| ①国による新型コロナウイルス感染症における水際対策により、外国人技能実習生等が入国後に要請される期間（宿泊日数は15泊を限度とする）の待機費用等を負担する企業に対し補助を行い、外国人材の確保を支援する。<br>②補助金<br>③1人当たり補助上限額：120,000円 補助対象となる在留資格及び予定人数：技能実習生180人、特定技能22人<br>④外国人技能実習生等を受け入れた県内企業及び監理団体 | 沖縄県労働政策課 |
|---|----------|

|   |
|---|
| <b>■事業実績・事業効果</b><br>【事業実績】<br>・支援件数41事業所、技能実習生等受入157人分について支援することができた。<br><br>【成果（効果）】<br>・国の水際対策において、令和4年6月以降の緩和措置により本事業の支援対象となる企業等が減少したため、当初期待された規模の効果は得られなかった。 |
|---|

|  |
|--|
| <b>■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）</b><br>【関係団体】<br>・補助対象になった事業者<br><br>【アンケート数（ヒアリング数）】<br>・未実施のため、年内までにアンケート調査を実施し取りまとめる。<br><br>【公表（取りまとめ）時期】 |
|--|

|  |
|--|
| <b>■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）</b><br>【意見・評価】<br>水際対策の要請期間に関わらず、対象期間の延長を求める声があった。（電話2件）<br><br>【課題】<br>本事業は、関係団体等の要請等もあり実施した国の水際対策に対する事業者支援の事業であるが、類似事業を実施している県より事業を構築した時期にやや遅れがあった。 |
|--|

|  |
|--|
| <b>■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）</b><br>・事業構築がやや遅れたため、同様な事業を実施する場合には、迅速な対応できるよう関係団体との情報共有に務めたい。 |
|--|

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

|                  |                |              |
|------------------|----------------|--------------|
| <b>交付対象事業の名称</b> | 担当部局名          | 商工労働部        |
| 新型コロナ事業者支援相談窓口事業 | 担当課名           | 産業政策課        |
|                  | 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2330 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別） | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|----------------|--------------|
| 15     | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ③-1-4. 事業者への支援 | 19,864 千円    |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | <b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b> |
|--|-----------------------------|

|   |      |
|---|------|
| ①「中小法人・個人事業者のための事業復活支援金」の事前確認及び申請手続きに係る事務処理の円滑化サポートや、「中小企業等事業再構築促進事業等の補助金」の県内事業者への活用促進による事業再構築のサポートなど、国が実施する事業者向け支援に関して、きめ細やかな相談支援業務を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内事業者が事業の継続・回復を図れるよう国の給付金及び補助金の活用を支援することを目的とする。<br>②新型コロナウイルス感染症対策に関連して、国が実施する一時支援金、事業再構築補助金、その他事業者向け支援の内容についての相談窓口を設置し事業者へのサポートを行う。<br>③相談窓口対応3人<br>④県内事業者 | ・沖縄県 |
|---|------|

**■事業実績・事業効果**

|  |
|--|
| <b>【事業実績】</b><br>・事業再構築事業関連で875件、事業復活支援金関連で337件、コロナ経済対策支援制度関連140件、経営相談11件、その他43件 合計1,406件<br><b>【成果（効果）】</b><br>・県サポート窓口における事業者への相談対応、計画作成支援、経済団体及び業界団体への周知・広報等の取組を行った結果、国から公表されている事業再構築事業補助金における沖縄県企業の応募者比率は、他の都道府県と比べても高く、令和5年3月末までの採択件数は948件となっている。<br>・事業復活支援金の給付について、沖縄県は1.3%となっており、福岡県3.9%、熊本県1.4%に次ぐ実績となっている。 |
|--|

**■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）**

|   |
|---|
| <b>【関係団体】</b><br>・産業振興公社<br><br><b>【アンケート数（ヒアリング数）】</b><br>・相談記録1,406件<br><br><b>【公表（取りまとめ）時期】</b><br>・令和4年3月 |
|---|

**■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）**

|  |
|--|
| <b>【意見・評価】</b><br>・申請書類を修正する際、方向性に関するアドバイスがほしい。<br><br><b>【課題】</b><br>・各事業支援金の審査結果について、全給付終了後のため、時間を要する。 |
|--|

**■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）**

|   |
|---|
| ・申請書の書き方に関する相談が多かったため、難易度を下げるまたは簡素化を図るなど書類作成に関する改善や、窓口の更なる増設等が望まれる。 |
|---|

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

|                     |
|---------------------|
| <b>交付対象事業の名称</b>    |
| EC活用による県産品等販売促進支援事業 |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | アジア経済戦略課     |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2340 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別） | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|----------------|--------------|
| 16     | 地方単独      | —    | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ③-1-4、事業者への支援  | 64,672千円     |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>■事業概要</b></p> <p>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br/>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）</p> <p>①県内事業者等の県外消費者向けEコマースにかかる送料に対する支援を行い、県内の生産者や製造メーカー等が抱える在庫の解消を図るとともに、新型コロナウイルス感染拡大下で変化した市場ニーズ(巣ごもり需要等)を捉え、ウィズコロナを見据えた新たな商流構築等による県産品等の販路拡大を促進する。<br/>②委託料（事務局経費）：24,252千円、補助金（事業者補助）：78,000千円 ※計画ベース<br/>③委託料：前年度事業参考、補助金：400千円×195社 ※計画ベース<br/>④県外消費者向けのEコマース取引を実施している県内事業者等</p> | <p><b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b></p> <p>沖縄県商工労働部アジア経済戦略課、県内事業者等</p> |
|--|---|

|  |
|--|
| <p><b>■事業実績・事業効果</b></p> <p><b>【事業実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内事業者等に188件の補助金交付を決定し、40,482千円の送料支援補助を実施。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響下における県産品の売上向上（約3.1億円）に寄与。</li> <li>補助事業者169社のうち約8%（13社）は、令和4年度から新たにECサイトを立ち上げた事業者であり、県内事業者のEC化の促進に寄与した。</li> </ul> |
|--|

|  |
|--|
| <p><b>■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）</b></p> <p><b>【関係団体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県産品等を販売する県内事業者等</li> </ul> <p><b>【アンケート数（ヒアリング数）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業者169社にアンケートを実施し、140社から回答を得た。</li> </ul> |
|--|

|  |
|--|
| <p><b>■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）</b></p> <p><b>【意見・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業に対して「満足している」という回答が73%。</li> <li>事業を通して「売上が上がった」という回答が66%。</li> <li>「書類作成の負担が大きい」という意見が多かった。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ECサイト構築で事業者が最も課題に感じていることは「サイトへの集客」、次いで「新規顧客獲得」であった。</li> </ul> |
|--|

|  |
|--|
| <p><b>■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請書類等の提出期限が短いという意見があったことから、令和4年度事業にあたっては、補助金申請期間を令和3年度（2週間）より延長（3週間）して実施。</li> <li>事業目的である県内事業者の在庫解消が一定程度図られたこと、ECを活用した商流構築が進んだこと、行動制限緩和による観光客を含めた県産品購入者が回復しつつあることから、令和4年度で事業を終了。</li> </ul> |
|--|

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

|   |  |                             |
|---|--|-----------------------------|
| <b>交付対象事業の名称</b><br>沖縄県雇用継続助成金事業（令和4年6月補正分） |  | 担当部署名<br>商工労働部              |
|   |  | 担当課名<br>雇用政策課               |
|   |  | 電話番号<br>(職場代表) 098-866-2324 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別） | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|----------------|--------------|
| 39     | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ③-1-4. 事業者への支援 | 17,475千円     |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | <b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b> |
|--|-----------------------------|

|   |                |
|---|----------------|
| ① 本助成金は、国の雇用調整助成金（及び緊急雇用安定助成金）の交付を受けた事業主を対象に、休業手当の一定の割合を上乗せ助成することで、事業主の負担軽減を図り、雇用の維持につなげる。<br>② 補助金<br>③ 大企業：申請件数 4件 支給決定額 1,084,752円<br>中小企業：申請件数 457件 支給決定額 16,389,800円<br>合計：申請件数 461件 支給決定額 17,474,552円<br>④ 沖縄労働局から雇用調整助成金等を受給している県内の事業主 | ・沖縄県商工労働部雇用政策課 |
|---|----------------|

**■事業実績・事業効果**

|  |
|--|
| <b>【事業実績】</b><br>・申請件数 461件 支給決定額 17,474,552円  |
| <b>【成果（効果）】</b><br>・コロナ禍において、雇用調整助成金や本助成金の活用等により、県内の完全失業率は年平均3%台（R2：3.3%、R3：3.7%、R4：3.2%）に抑えられており、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主の負担軽減を図り、雇用の維持に寄与したものと考える。 |

**■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）**

|   |
|---|
| <b>【関係団体】</b><br>・本事業を利用した事業者   |
| <b>【アンケート数（ヒアリング数）】</b><br>○アンケート①<br>・13件<br>・申請窓口において、アンケート調査票を配付・回収<br>・本事業に対する意見・評価等<br>○アンケート②<br>・14件<br>・対象事業所を直接訪問、または電話での聞き取り<br>・今後の経営上の課題等 |
| <b>【公表（取りまとめ）時期】</b><br>アンケート①：令和4年9月15日（公表予定無し）<br>アンケート②：令和4年12月14日（公表予定無し）   |

**■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）**

|  |
|--|
| <b>【意見・評価】</b><br>○意見・評価<br>・アンケートでは、事業者から「企業体力がないなかで少しでも給付がもらえたのは、雇用を守ろうと思った。」や「本助成金がなかったとしたら、赤字が増大し、人員削減の方向になったと思われる」などの意見があった。<br>・今後の経営上の課題については、コロナ対策より、物価高騰や人手不足対策を挙げる企業が多かった。 |
| <b>【課題】</b><br>・押印廃止等による、申請手続きの簡素化   |

**■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）**

|  |
|--|
| ・コロナ禍からの経済回復に伴い、事業活動を再開する事業主が増えたことによる申請件数の減や国の雇用調整助成金（コロナ特例）等の終了を踏まえ、本助成金については、対象期間を令和4年11月休業分までとし、終了したところである。 |
|--|

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

| 交付対象事業の名称       |
|-----------------|
| うちなーんちゅ応援プロジェクト |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | 中小企業支援課      |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-917-2872 |

| 実施計画 No  | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類 (項目別)              | 臨時交付金充当額 (千円) |
|--|-----------|------|--------|--------|----------|------------------------------|---------------|
| 88   | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ⑤-IV-1. ウイズコロナ下での感染症対応の強化    | 2,739,293 千円  |
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等)<br>④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)   |           |      |        |        |          | <b>■実施主体 (沖縄県、市町村、民間団体等)</b> |               |
| ①飲食店等に対する営業時間短縮要請を踏まえ、要請に協力した飲食店等への協力金 (令和4年1月9日～令和4年2月20日までの要請に係る分)<br>②報償費、役務費、委託料<br>③各期の想定対象店舗数×支給額 (一律/下限、10万、20万)<br>④休業または時短営業要請に応じた飲食店等  |           |      |        |        |          | ・沖縄県                         |               |
| <b>■事業実績・事業効果</b>  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>【事業実績】</b><br>・第10期 (令和4年1月9日～令和4年2月20日) 支給件数7,787件、支給額13,967,734千円(R4年度分)  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>【成果 (効果)】</b><br>・支給件数の規模から、感染拡大防止に一定の効果があったと考えられる。   |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>■当該事業に対する効果検証の方法 (関係団体アンケート、ヒアリング)</b>  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>【関係団体】</b><br>・令和3年度に第7期を受給した事業者に対してアンケート調査を実施した。<br><b>【アンケート数 (ヒアリング数)】</b><br>・電子申請を行った8,851事業者を対象にWebアンケートを行い、2,353事業者 (回答率26.6%) から回答があった。<br><b>【公表 (取りまとめ) 時期】</b><br>・2022年3月 (※取りまとめ時期)  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>■当該事業に対する関係団体からの意見・評価 (県民からの意見を含む)</b>  |           |      |        |        |          |                              |               |
| ※うちなーんちゅ応援プロジェクト<br><b>【意見・評価】</b><br>・受給した協力金に対する額としては「充分だった」が2,353件中1,641件となっていること、また本事業に対する自由意見 (442件) のうち、感謝を表す意見が139件であったことから休業等要請への協力を引き出すことができたと考えられる。  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>【課題】</b><br>・本事業に対する好意的な評価が多かったものの、自由意見の中で支給の遅れ等を支給事務の改善を求める意見もあったことから、迅速な支給に向けた取り組みを継続している。  |           |      |        |        |          |                              |               |
| <b>■事業に対する改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点より)</b>   |           |      |        |        |          |                              |               |
| ・※うちなーんちゅ応援プロジェクト<br>・迅速な支給に向けては、以下の改善を図ってきたところ。<br>① 商工会、飲食組合等関係団体の確認書発行を受けた事業者に対する一部書類 (営業許可証、店舗写真等) の省略 (第1期途中～)<br>② 協力金の支払い業務の私人委託 (第2期～)<br>③ 郵送での申請に加え、電子申請を導入 (第4期～)<br>④ 過去の協力金支給済事業者の審査を簡略化 (第5期～)<br>⑤ 申請書類の不備が多かった郵送での申請を取りやめ、電子申請に一本化 (第6期～)<br>⑥ 審査体制を50人規模から100人規模に倍増 (第6期～)<br>⑦ 過去の協力金支給済事業者にIDを配布し、一部書類 (本人確認書類、口座情報等) を省略 (第6期～)<br>⑧ 県内19カ所に電子申請サポート窓口を設置し、約80名の支援員を配置 (第6期～)<br>⑨ 第8期早期支給や複数期への対応のため、審査要員を50名追加 |           |      |        |        |          |                              |               |
| → 令和3年度アンケート時の協力金の申請についての意見では、2593件中1,595件がスムーズであったと回答。<br>電子申請のみの受付としたことについては、3,076件中1,662件が申請が楽になったと回答、713件が支給までの時間が短くなったと回答している。<br>一方で、申請が難しくなったとの回答が256件、郵送 (紙) での申請を残して欲しかったとの回答が221件あり、申請サポートの必要性も確認された結果となっている。  |           |      |        |        |          |                              |               |

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

|               |
|---------------|
| 交付対象事業の名称     |
| 県単融資事業（R3予算分） |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | 中小企業支援課      |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2343 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別）                    | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|-----------------------------------|--------------|
| 96     | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ④-III. 新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等 | 724千円        |

|  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | <b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b> |
|--|-----------------------------|

|   |                 |
|---|-----------------|
| ①県融資制度資金「中小企業セーフティネット資金（原油・原材料等）」の融資を受ける事業者へ信用保証料を補助することにより、原油・原材料高騰による悪影響を受けた事業者の資金調達コストの低減を図る。<br>②補助金（信用保証料）<br>③H20～22年の1件あたり同種融資額平均 12,464千円<br>補助対象期間7ヶ月【R4.6月～12月】見込み融資件数 73件<br>見込み融資額 12,464千円×73件＝909,872千円<br>保証料補助 909,872千円×1.15%＝10,464千円<br>④事業者から信用保証料を徴求する沖縄県信用保証協会に対して交付する。 | 沖縄県商工労働部中小企業支援課 |
|---|-----------------|

**■事業実績・事業効果**

|  |
|--|
| <b>【事業実績】</b><br>・同資金の融資に係る信用保証協会の保証承諾件数： 24件<br>・信用保証協会への交付額： 724千円<br><br><b>【成果（効果）】</b><br>・同資金の融資を受けた事業者の信用保証料の負担軽減を図ることにより、原油・原材料高騰による悪影響を受ける事業者の円滑な資金繰り支援及び資金調達コストの低減に寄与した。 |
|--|

**■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）**

|                               |
|-------------------------------|
| 関係団体である沖縄県信用保証協会に対しヒアリングを行った。 |
|-------------------------------|

**■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）**

|   |
|---|
| <b>【意見・評価】</b><br>中小企業者の円滑な資金繰り支援及び負担軽減につながるとの意見があった。 |
| <b>【課題】</b><br>特になし。                                  |

**■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）**

|                     |
|---------------------|
| 同資金の債務保証残高の推移を注視する。 |
|---------------------|

令和4年度新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

|                                     |
|-------------------------------------|
| <b>交付対象事業の名称</b>                    |
| 新型コロナウイルス感染症対応中小企業事業資金調達支援基金（R3予算分） |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | 中小企業支援課      |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2343 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別）                  | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|---------------------------------|--------------|
| 97     | 地方単独      |      | 令和4年4月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ④-Ⅲ. 新たな価格体系への適応の円滑化に向けた中小企業対策等 | 19,159 千円    |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>■事業概要</b></p> <p>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br/>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）</p> <p>①県融資制度資金「中小企業セーフティネット資金（原油・原材料等）」の融資を受ける事業者へ信用保証料を補助することにより、原油・原材料高騰による悪影響を受けた事業者の資金調達コストの低減を図ることを目的として、当該資金の融資期間（7年間）における保証料補助に要する経費について基金へ積立を行うもの。<br/>②積立金<br/>③保証料補助額のうちR5年度(2年目)～R9年度分<br/>2年目(R5)8,720千円、3年目(R6)6,976千円、4年目(R7)5,232千円、<br/>5年目(R8)3,488千円、6年目(R9)1,744千円<br/>④事業者から信用保証料を徴収する沖縄県信用保証協会に対して交付する。</p> | <p><b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b></p> <p>沖縄県商工労働部中小企業支援課</p> |
|--|---|

|   |  |
|---|--|
| <p><b>■事業実績・事業効果</b></p> <p><b>【事業実績】</b><br/>R6年度からR9年度に要する経費として、「沖縄県新型コロナウイルス感染症対応中小企業事業資金調達支援基金」へ19,159千円の積立を行った。</p> <p><b>【成果（効果）】</b><br/>基金に積み立てることで、中小企業者が令和9年分までに要する信用保証料の財源確保につながり、原油・原材料高騰の影響を受ける中小企業者の資金調達コストを低減するとともに、経営の安定化に寄与する。</p> |  |
|---|--|

|  |  |
|--|--|
| <p><b>■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）</b></p> <p>関係団体である沖縄県信用保証協会に対しヒアリングを行った。</p> |  |
|--|--|

|  |  |
|--|--|
| <p><b>■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）</b></p> <p><b>【意見・評価】</b><br/>中小企業者の円滑な資金繰り支援及び負担軽減につながるとの意見があった。</p> <p><b>【課題】</b><br/>特になし。</p> |  |
|--|--|

|   |  |
|---|--|
| <p><b>■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）</b></p> <p>同資金の債務保証残高の推移を注視する。</p> |  |
|---|--|

令和4年度新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業効果検証シート

| 交付対象事業の名称           |
|---------------------|
| 中小企業原油価格・物価高騰対応支援事業 |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 担当部局名          | 商工労働部        |
| 担当課名           | 中小企業支援課      |
| 電話番号<br>(職場代表) | 098-866-2343 |

| 実施計画No | 地方単独・国庫補助 | 所管省庁 | 事業始期   | 事業終期   | 臨時交付金の種類 | 交付対象事業の分類（項目別） | 臨時交付金充当額（千円） |
|--------|-----------|------|--------|--------|----------|----------------|--------------|
| 98     | 地方単独      | 内閣府  | 令和4年8月 | 令和5年3月 | 通常分交付金   | ④-1. 原油価格高騰対策  | 12,709 千円    |

|  |   |
|--|---|
| <b>■事業概要</b><br>①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等）<br>④事業の対象（交付対象者、対象施設等）   | <b>■実施主体（沖縄県、市町村、民間団体等）</b><br>・沖縄県商工労働部中小企業支援課 |
| ①原油・原材料費高騰対策として、事業継続力強化計画を策定した事業者に対し、省エネ設備の購入に係る経費を補助することで、県内事業者の事業継続を支援する。<br>②補助金<br>③補助上限額×申請見込件数<br>④事業継続力強化計画を策定した県内事業者 |   |

|   |
|---|
| <b>■事業実績・事業効果</b><br>【事業実績】<br>・交付件数：30者 交付額：12,709千円<br><br>【成果（効果）】<br>・補助金の交付を受けた30者全てにおいて、省エネ設備への更新による光熱費等の節減が図られた。 |
|---|

|  |
|--|
| <b>■当該事業に対する効果検証の方法（関係団体アンケート、ヒアリング）</b><br>【実績報告書類】<br>・事業者から県への実績報告時に、機器の更新前後における光熱費等の変化を確認することにより、省エネ効果の検証を行った。 |
|--|

|   |
|---|
| <b>■当該事業に対する関係団体からの意見・評価（県民からの意見を含む）</b><br>【意見・評価】<br>・商工会議所から、事業継続力強化計画の策定に向けた県内事業者への動機付けとして活用できるとの意見があった。<br><br>【課題】<br>・特になし |
|---|

|  |
|--|
| <b>■事業に対する改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点より）</b><br>・特になし |
|--|